

10月6日(日)

兼山の歴史に思いをはせる 歴史イベント開催

スタンプラリーウォーキング

兼山地域で歴史文化に触れながら、「金山越し」に思いをはせるウォーキングイベントです。地域内のポイントで美濃金山城の重ね押しスタンプを押して、イラストを完成させ、美濃金山城限定缶バッジをゲットしよう。

受付時間 9時30分～11時

場 所 観光交流館駐車場(旧兼山町役場跡)

※車は兼山地区センターに止めてください。

定 員 300人(先着順)

参加費 無料



金山越し講演会「日本最古の城門と天守」

時 間 14時～15時30分

場 所 兼山小学校

講 師 三浦正幸さん(広島大学名誉教授)

定 員 200人(抽選)

受講料 無料

申込方法 往復はがき

※詳細は市HPで確認してください。



市HP

YAOバス無料DAY

問 都市計画課 内 2305

YAOバスは、名鉄明智駅から兼山を経由し、八百津町ファミリーセンターへ向かうコミュニティバスです。

兼山で開催するイベントなどに、YAOバスに乗ってお出かけしませんか。

期 日 10月5日(土)、6日(日)



YAOバス時刻表



金山越しで移築されたといわれている瑞泉寺門(犬山市)

犬山城は金山城移築の城!?

森氏一族が、金山(兼山)を35年間治めていましたが、慶長5年2月、金山城主森忠政が転封されると金山城は犬山城主石川備前守光吉に与えられました。金山城と犬山城はともに木曾川の近くに位置することや、戦略の変化から、関ヶ原の戦いに際して金山城は破城となりました。

当時城郭に用いられていた資材は貴重なものであったため、移築の際や建築物を新設する際などにも、頻繁に活用されていました。広く東美濃を支配した森氏の豊かな経済力をもとに、犬城郭となった金山城諸施設の全てが、木曾川の水運を活用し運ばれ、使われたという伝承があります。運ばれた資材は、犬山城の建築の際に再利用されたともいわれており、現在の犬山城の規模から美濃金山城の姿を思い起こすことができます。

この一連の出来事は「金山越し」と呼ばれており、犬山と兼山に記録や伝承が残され、現代に伝えられています。近年はその信ぴょう性が高まりつつある歴史ロマンです。

※1 大名の領地を他に移すこと。

※2 城を崩し廃止すること。

瑞泉寺門

金山越しにより移築されたと伝わる門が犬山市瑞泉寺にあります。現存する日本最古の城門といわれるほど古く、400年の時を超えてなおそびえ立つ門は、当時の金山城の規模や造りを想像させます。

